

その効果が評価されている。

2006年3月、われわれは県三役に発達障害児・者支援システムの構築の重要性と亀山市の支援システムを報告した。その結果、「システム構築の必要性を各自治体や住民に伝え、その推進を援助するように」との講評を頂いた。加えて、県は各部局から代表者を選出したワーキング・グループを立ち上げ、市町を援助する方策の検討を始めた。

人は誰でも生涯において、個人あるいは環境的要因により様々な課題を抱える。その意味でこれまで述べてきたシステム構築は、発達障害児・者支援を超えた、市町に生まれ育つ子どもの全てが対象になる次世代育成の一環と言える。

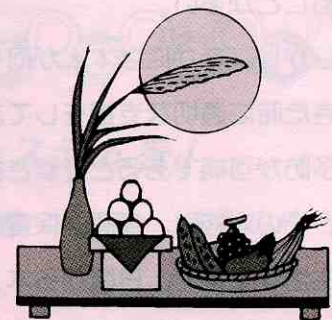
まずは、市町の保健・福祉・教育・生活、商工労働などの各部局から代表者を選出しワーキング・グループを立ち上げ、子どもや保護者、彼らに関わっている保健師、保育士、教師から情報を得て頂きたい。発達障害者支援法や特別支援教育で謳われている仕組みを具体的に市町レベルで実現させる、その作業を三重県やあすなる学園は以下のような項目で支援できる準備を整えている。

1. 気になる子の早期発見、特に軽度発達障害(学

習障害、多動性障害、高機能広汎性発達障害)

に対応する集団プログラムの開発と実施方法

2. 発見後のフォロー教室、子育て支援センター、療育事業等の整備、保護者への支援方法
3. ライフステージに応じた個別の指導計画の作成及び進捗管理の方法
4. 就学指導委員会のあり方の再検討方法
5. 保健・福祉・医療・教育、就労、生活とのライフステージに応じた途切れない支援や現時点での横の協働方法
6. 保健師、保育士、教師、行政など発達総合支援室の核となる職員の専門的人材育成
7. 1～6をマネジメントし、途切れない支援を進捗管理する発達総合支援室(または機能)の立ち上げ方法



外来診療のご案内

平成18年9月からの診察担当医です。

- * 診察は完全予約制です。
- * 初めての方の診察は午前のみで、予約制です。

● 予約電話番号
059-234-9700

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	中野弘	中野知	西田
2 診	中野知	中西	石田	中西	中野弘
3 診	山本	中島	/	山本	/
4 診	河野				